

当センターの職業訓練を受講後、両備ホールディングス株式会社 両備テクノカンパニー様に正社員として就職され、倉敷工場 製造課で生産管理を担当されている谷口 喜一様（生産管理技術科 平成 30 年 6 月生）に、現在のお仕事等についてお話を伺いました。

さらに、創夢部 部長 兼 倉敷工場 業務推進課 磯部 慎一郎様と同僚である鳥越涼介様に、谷口様の採用や仕事ぶりについてお話を伺いました。



（左から、磯部部長、鳥越様、谷口様）

* * * * *

**安定した仕事に就きたい、次の仕事への道筋ができると
思い、職業訓練を受講。受講中に仕事の土台を築いて、
就職後はその上にひとつずつ積み上げること。**

生産管理技術科を受講された谷口様に、現在のお仕事や就職の経緯などについてお話を伺いました。

◇現在のお仕事は？

- 製造業の生産管理です。顧客から依頼を受け、現場に作業の指示を出して、工程管理、作業管理、品質管理、そして納品という流れになります。顧客との折衝、Jw-CAD を使って製図もします。CADソフトは Auto CAD もありますが、私は職業訓練で使用した Jw-CAD を使っています。

◇前職は？

- 土木工事作業員です。市や民間企業から土木工事を請け負う建設業の会社に勤務していました。有期雇用でした。

◇就職されて、いかがですか？

- とても楽しく、職場の雰囲気も明るいです。私が所属する製造課はできたばかりの部署で、仕事のシステムを構築している段階です。全く異なる分野からの転職でしたが、周囲のサポートもあるため、働きやすいです。

◇職業訓練を受講しようと思われたのは？

- － 前職は社会保険が完備されていませんでした。安定した仕事に就きたかったので、職業訓練を受講しようと思いました。CAD・NC 機械科、生産管理技術科、ICT システムサポート科を検討していましたが、ちょうど募集していた生産管理技術科に応募しました。

◇受講の目標は？

- － 生産管理技術科は、製造や生産管理について広く、浅く学ぶというコースなので、内容が盛りだくさんで、今後の仕事の道筋ができると考えました。少しでも知識を得て、引き出しを増やすために、カリキュラムに沿って広く、浅く知識を習得していきました。

◇受講前、ポリテクセンターの印象は？

- － ハローワークでポリテクセンターのことを知りました。学校という印象を受けました。

◇受講していかがでしたか？

- － 受講してよかったです。ものづくりの基礎知識、生産管理を広く、浅く学ぶことができました。
受講して高校生に戻った感じでした。上は 60 才、下は 22 才と年齢の幅が広いクラスでしたが、クラスみんなが明るくて、楽しく受講することができました。

◇職業訓練で習得したスキルで、今のお仕事で役立っていることは？

- － 職業訓練で機械、電気、生産管理などを幅広く学んだことが役立っています。今の仕事では、幅広くいろいろなことをしています。少しでも聞いたことがあると、仕事をイメージすることができます。今はまだ、基礎を知っているだけなので、これから仕事をしながら、それぞれの専門分野について深く学ぶことが必要だと考えています。

◇就職活動や当センターの就職支援は、いかがでしたか？

- － 指名求人（※1）も多くいただきましたが、合同就職説明会（※2）で弊社の説明を聞いて、その場で工場見学を申し込んで、見学に行きました。ここで働きたいと思い、すぐに応募しました。
見学のときに、きれいな工場だなと思いました。門型クレーンがあり、興味があったので、質問しました。入社したらどういうことをするのか、見ただけではわからないことをいろいろ伺いました。
ポリテクセンターの就職支援で印象に残っているのは、面接練習で、語尾が「～ですう～」と語尾の空気が抜けていると、指摘されたことです。就職活動中、相談担当の方に相談にのっていただいたり、ときには激励されたりとお世話になりました。

※1 「指名求人」とは、希望職種など訓練受講者（求職者）の情報を事業所に提供し、受講者を指定してご提供いただく求人です。

※2 「合同就職説明会」は、岡山労働局と当センターの共催で、当センターの受講者を対象に、当センター内で開催している就職イベントです。

◇就職決定の決め手は？

- 一 正直なところ、まず、「両備」というネームバリューです。岡山を代表する会社、岡山のリーディングカンパニーのひとつだからです。そして、自宅から近いことも大きかったです。定年まで勤務することや繁忙期でも健康を維持することを考えると、通勤は毎日のことなので、通勤の距離と時間は重要です。もちろん大前提として、私がしたいと思っていた仕事だったからということもあります。生産管理の仕事はいろいろなことができるので、自分に合っていると思いました。受講中、担任の先生から、「いろいろなことができる生産管理が向いている。」と言われ、そういう職に就きたいと思っていました。工場を見学したときに、「ポリテクセンターの受講者を採用しているので、聞いていると思うけど、弊社は採用決定までの期間が長い。」と説明されました。その言葉どおり訓練終了間近になっても採否が決まっていませんでした。訓練終了の翌月から働きたかったし、他社からも内定をいただいていたので、返事を待っていただいていたので、これ以上お待たせできないというときになり、「御社の採用が決まらなかったら、他社に行きます。」と、自分の意思を伝えました。当時は必死でしたが、振り返ると、自分の都合しか考えていないとも受け取られかねない行動だったかもしれません。

◇今後の目標は？

- 一 仕事は、今の延長線上で、自分が持っているものや、これから得るものを活かしたいです。知識も経験もまだ浅いので、もっと充実させていきたいと考えています。両備テクノカンパニーでは、生産管理を担当しているのは私ひとりです。鉄工所出身の顧問の方に教えてもらいながら、仕事をしています。当分の間は、仕事一筋で頑張りたいです。仕事は楽しいし、職場が明るく、弊社は事務も現場も働きやすい環境だと感じています。

◇就職活動中の方や職業訓練を受講されている方にメッセージをお願いします。

- 一 受講している内容は、「基礎」です。受講中はその基礎をきちんと習得すること、そして、受講中は仕事の土台をしっかりと築いて、就職後はその土台の上にひとつずつ着実に積み上げることです。職業訓練を受講したからといって、すぐに仕事ができるようになるのではなく、職業訓練はそのひとつのステップと考えて欲しいです。生産管理の仕事は幅広く、他部署との連絡調整をしなければなりません。生産管理はどの会社も人員が少ない部署だと思います。だから、他部署の社員とのコミュニケーションが大切ですし、人づき合いができることが求められます。

* * * * *

あいさつ、身だしなみから、両備の社員としての資質が備わっていると感じた。これからも社員と一緒に仕事に取り組んで、弊社で職業人生を全うして欲しい。

創夢部 部長 兼 倉敷工場 業務推進課 磯部 慎一郎様と同僚である鳥越 涼介様に、谷口様の仕事ぶりや採用の決め手、今後の採用についてお話を伺いました。

◇事業内容は？

- 一 （磯部部長）大型車両・重機・建設機械などの整備と、整備に必要な部品を製造しています。

部品の製造は、汎用部品の製造と、オーダーメイド品のような一点物の製造になります。整備車両の部品は特殊なので、メーカーの純正品だと納期とコストがかかります。お客様から現物を示されて、「これと同じものをつくって欲しい。」とオーダーされますが、現物そのままのものを作るばかりではありません。例えば、ダンプのピンの場合、ピンを取り付ける車両の穴の寸法は、車両ごとに異なることがあります。純正品を使うと、受け側を溶接で盛って、ピンに合わせて穴の大きさを調整しなければなりません。オーダーメイドでピンを作ると、溶接をしなくても穴の大きさに合ったピンを取り付けることができます。そのため、納期短縮、コストダウンができ、顧客に喜ばれています。

弊社倉敷工場で訓練内容を活かせる仕事としては、汎用旋盤・フライス盤、溶接です。他社の工場の発電設備の電気保守も請け負っているため、電気関係のコースを修了された方も活躍できる場があります。

◇採用の決め手は？

- 一 （磯部部長）合同就職説明会で弊社のブースに谷口さんが来られました。工場見学を経て、応募・採用に至りました。

谷口さんは、あいさつ、身だしなみ、服装がきちんとしていて、姿勢や雰囲気から両備の社員としての資質が備わっていると感じました。見学に来られた時に、多くの質問をしていただき、仕事以外にも、工場のこと、ここで働くとしたときに気になることを確認されていました。その姿から、仕事をしようという意志が強く、弊社で働きたいという“本気度”が高いと感じました。

学んでいる内容をたずねると、弊社にない分野だったので、弊社にとってプラスになると思いました。製造部門ができて2年少々になります。整備に必要な部品は外注していましたが、内製化のため、鉄工会社を吸収しました。その会社のシステムを参考にして、弊社は仕事をしていましたが、当時は、製造に関する事務の指針がなく、いろいろ模索しながらの業務で、なかなか円滑に進みませんでした。そのときに、谷口さんとお会いし、職業訓練で学んだことを活かして、生産管理や事務処理で活躍していただけると感じました。

◇仕事ぶりは？

- 一 （機部部長）はじめは、慣れない仕事で、ピンとこないことも多かったようですが、わからないことは質問をして、必死に食らいついてきました。初めの数ヶ月はつきっきりでしたが、生産管理の方法やツールが固まってきて、今では製造部門の内勤の仕事を一人で担ってくれています。入社してまだ1年弱なのに、3年目くらいの感じがします。周りの社員もそんな感じで、谷口さんに接しています。谷口さんは、真剣に仕事に取り組んでくれます。それにつられてか、周りの社員も一緒に真剣に取り組んでいます。谷口さんが、いい刺激になっています。

谷口さんを傍から見ていると、弊社の職場や仕事に抵抗感がないように感じます。製造や生産管理について学んだということがあると、知らないことでも吸収力が違います。新たに何か仕事のシステムを構築する際や、改善をしなければならないときに、比較対照できるものがあるから、自分で熟考して答えが出せるのだと思います。

（鳥越様）谷口さんと勉強しながら一緒に仕事をしてきました。私から谷口さんに指示を出すことがありますが、私が言うことがすべて正しい訳ではなく、谷口さんは気になった点をきちんと指摘してくれます。本質的に仕事を理解しようと、真摯に一緒に取り組んでくれています。

◇期待されていることは？

- 一 （機部部長）谷口さんがいなかったら、事務はここまでうまく回っていませんでした。ですが、これからのことを考えたら、まだ改善の余地があります。これからも一緒に考えて、取り組んで欲しいです。谷口さんは職場の潤滑油としても機能しているので、先頭を切ってやって欲しいと思います。

今後、製造担当も生産管理担当も増えるだろうし、取りまとめ役をお願いしたいとも思っています。谷口さんは、これまでの経験から何ごとでも一人でできないと思い知らされているから、周りの社員と一緒に仕事ができるのだと思います。今後も「明るい職場でワンチーム」を目標に進んで欲しいです。

◇職業訓練を受講されて、仕事に役立っている点は？

- 一 （機部部長）生産管理の知識です。訓練で使用されたテキストを見ました。私が職場で教わったことも多く書いてありました。私は一般販売されている本で、自分で

勉強しましたが、訓練のテキストには違う視点があり、数値を出す式まで踏み込んで記載されていました。今後、生産能力を割り出していかなければならないときに役立つものと思います。

◇当センターに期待することやご要望は？

- 一 （機部部長）弊社がうまくポリテクセンターを活用できているかという点、まだ不十分だと思います。弊社がこれから事業を拡充するとすると、人材が必要になってきます。ものづくりに興味がある方、ポリテクセンターから提供される求職者情報（※1）を見てピンとくる人にアプローチしたいと考えています。

以前、溶接と電気で、企業実習付きのコース（※）の受講者を受け入れました。1ヶ月間、弊社の仕事を体験してもらえ、弊社も人物を見定めることができましたので、人材確保の一環として企業実習も活用したいと考えています。

ポリテクセンターは基礎的なことを学べる場所だと思います。職業訓練を受講せずに入社すると、仕事をしながら先輩に教わるしかありません。職業訓練で基礎を学ぶのは大変いいことです。受講している人は、学ぼうというところからスタートしているし、すでに一歩踏み出しています。学んで、その道に就職しようという点で、スタートラインが違います。倉敷工場はうまくマッチしました。

※1 「求職者情報」は、希望職種など訓練受講者（求職者）の情報を冊子にし、ご登録いただいている事業所に定期的に提供しています。

※2 「企業実習付きのコース」とは、当センター内での職業訓練と企業実習を組み合わせ、企業内で OJT を通した実践的な仕事を体験するコースです。受講者が希望する企業に当センターが依頼します。

◇採用にあたり、重視されていることは？

- 一 （機部部長）自分で考える姿勢と柔軟性です。弊社の仕事は、前例どおりにしていればできるという仕事ではないので、そのときそのときの状況に応じて臨機応変に対応しなければならないからです。

求職者情報から指名する場合は、過去の職務経験、クレーン・玉掛け・大型免許などの資格の有無を参考にしています。また、訓練内容を見て弊社の仕事に活かせるかどうか考えます。事務職を希望されている方がおられて、簿記2級・3級を持っている人を指名したこともあります。

過去の経験は、異業種でも活かします。整備の経験があり、職業訓練を受講して鉄工の仕事をしている社員がいます。その社員には、製造した部品がどう使われるかがわかるという強みがあります。

弊社は、即戦力は求めていません。私自身転職経験がありますが、前職の経験はあてになりませんでした。入社したら、改めてイチからスタートです。私の転職経験から言わせていただければ、経験やスキルを活かそうという意識、会社にそれを還付していこうという気持ちが大事です。

谷口さんは、奥底に何か秘めた魅力があります。私のインスピレーションですが、

面接して「おもしろそうかな」と思えたり、「フィーリングが合いそうだ」という点も重視しています。

◇ものづくり分野への就職を希望・検討している方にメッセージをお願いします。

- 一 （磯部部長）弊社の社長の言葉になりますが、「与えられた仕事が天職」です。できるから、その仕事を与えられるのであって、できないなら、そのチャンスも来ないはず。採用されたということは、天職に出会うチャンスが巡ってきたということ。与えられた仕事を全うすると、その先に光が見えます。だから、是非全うして欲しいと思います。自分が思っていた仕事と違うと思う仕事を与えられたときは、自分が希望する仕事をするにはまだスキルが不足しているから与えられなかったということです。でも、与えられた仕事はできる仕事だから与えられたのです。“嫌だ、嫌だ”と思っているだけでは、チャンスはいつまでたっても来ません。柔軟に構えて、嫌だと思うことを本気でやったらいいのではないのでしょうか。私は人がやらないことをやってきました。人がやらないから、オンリーワンになれます。嫌な仕事をやればそれが自分の個性になります。会社に必要な人材になるチャンスです。みんながしたがることをしても、結局その仕事は多くの人ができることだから、結果として振るいかけられます。これまで働いた中で、私はそれを実感してきました。会社というところは、あなたが入社したら、周りが真剣にバックアップするものです。是非、そういう会社を選んでください。

（鳥越様）私は新卒で入社して、今4年目です。就職氷河期が終わり、売り手市場になるという頃に就活をしました。だから、就活生がし烈に争っているという感じではありませんでした。私は、就活生同士で情報共有するという就活はあまりしませんでした。広く、浅く、いろいろな仕事を見て、就職先を考えました。だから、ポリテクセンターで勉強して、それを活かす仕事に就きたいという人とは真逆の就活です。目標を定めて一直線に突き進んできた人に、私が思っているところが通じるかということ、難しい面もあるかもしれません。

21、22才の就活は、選べる仕事がいっぱいあるし、やりたい仕事がある人もいれば、そうでない人もいます。でも、できる仕事は誰にでも絶対にあります。そして、できることは増やすことができます。できることをするなら、苦ではありません。大切なのは、自分にできる仕事は何かを考えながら仕事をする姿勢だと思います。できないと思う仕事を任されたときは、どうすればできるようになるかを模索しながら取り組むことが大事です。“思っていた仕事と違う”と言われると、私は“それがどうしたの？”と思います。“ものの見方を変えてみたら、その仕事に魅力はないだろうか”、“思っていなかった仕事をするのは、だめなことなの？”と思います。今自分が向き合うべき仕事の魅力を探ることができるようになれば、なんだってできると思います。実は、入社2年目の社員から相談を受けて、こういう話をしました。その方は退職せず、今も続けています。

（磯部部長）「石の上にも3年」、3年は辞めずに続けることと、一般によく言われ

ます。しかし、弊社の仕事ができるようになるには、3年では足りません。10年、早くて5年と言われます。だから、自分だけで判断して早く仕事を辞めるのは、もったいないです。弊社で職業人生を全うできるなら、是非続けて定年を迎えて欲しいです。

両備ホールディングス株式会社 両備テクノカンパニー

所在地：(岡山工場) 岡山市南区西市 570

(倉敷工場) 倉敷市玉島乙島 8259-59 (玉島ハーバーアイランド内)

(営業本部) 岡山市北区下中野 717-103

(営業本部 東京支店) 東京都港区芝浦 3-2-16 (田町イーストビル 3F)

(福山出張所) 広島県福山市川口町 5-9-2

沿革：1910年 両備ホールディングス株式会社 (当時 西大寺軌道株式会社として) 設立

1937年 岡山県倉敷市に初めての整備工場を設置

1964年 岡山市北区西市に整備工場を移転 (現在の岡山工場)

2017年 玉島ハーバーアイランド内に2か所目となる整備工場 (倉敷工場) を設置

資本金：4億円 (両備ホールディングス株式会社)

従業員数：187名 (両備テクノカンパニー)

事業内容：大型車両・重機・建設機械などの整備、整備に必要な部品の製造

＝生産管理技術科担当から＝

谷口さんは在所中生産管理技術科のカリキュラムすべてに興味を持ち、積極的に受講されていました。多方面の知識を要求されたり、部署と部署の調整能力が求められる生産管理の職務に向いていると思います。

谷口さんがいると、周りが明るくなります。周りへの気配りを忘れずに頑張ってもらいたいと思います。

＝担当の就職支援アドバイザーから＝

入所後のジョブカード面談 (※) では「新しいことを学ぶのが好き」と話され、安定した企業への就職を目指し、書類作成は早くから前向きに取り組まれていた印象があります。

就職活動が初めてということで、ビジネスマナーなど不安に思われる要素もありまし

が、持ち前の明るさで私たちが助言したことを素直に取り入れ、確実に改善されていました。

特に印象深かったのが、大きな企業からの指名求人が来た時は「記念受験する！」と話していたものの、内定をいただいた企業（現在、就業中の企業）では仕事内容をよく聞き、仕事内容が納得できない時は辞退も視野にいれ、訓練内容が活かせることを真剣に考えていらしたことでした。

就職後は、一度あいさつに来所され、忙しいながらも元気そうな姿を見せてくださいました。今回のインタビューでやりがいのある仕事をされているとのことで、真剣に仕事を、ご自分の人生を考えた時間が現在に繋がっていると感じました。

これからも谷口さんらしく、活躍されることを期待しています。

※「ジョブ・カード面談」とは、ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングです。当センターでは、受講1ヶ月目に担任またはキャリアコンサルタントの資格を有する就職支援アドバイザーが実施します。ジョブ・カードに沿ってお話を伺うことで、ご本人の就職に関する希望・目標、これまでの職務経験や学習内容等からアピールできることや課題が明確になります。

（取材後記）

- ◎磯部部長、鳥越様、谷口様、業務ご多忙にも関わらず、ご協力いただき、ありがとうございました。谷口様が楽しく働いているとお話を伺い、また、磯部部長と鳥越様のお言葉から、谷口様が評価され、期待されていると感じ、スタッフ一同安心いたしました。
- ◎皆様からいただいたメッセージは、同じ道をたどった方からのお言葉として重みを感じました。転職・新卒に関わらず、これから新しい道を進もうとされている方への激励もあり、また、勇気をいただけるお言葉だと思います。
- ◎磯部部長が当センターに初めてお越しになられたとき、「ポリテクセンターから採用したい。」と、強くおっしゃってくださったことを今でも覚えています。今回、じっくりとお話を伺い、当センター受講者の採用について“本気度”が高いと改めて感じました。

<2019年10月>